

フリガナ	ササキ マサト
氏 名	佐々木 正仁
所 属	商学部経営学科
職 階	教授
専門分野	情報技術のビジネス利用

【主な研究内容】

生成AIをはじめとする近年のAI技術の普及は目覚ましく、ビジネスをはじめ社会におけるAI技術者、IT技術者が強く求められている現在において、大学教育での必要性の認識が高まるなか、本学においてもビジネス分野への適用について理解し、実装することのできる能力を持った学生を育てることは急務である。その必要性に応えるため、筆者は令和2年度・3年度において教育改革研究費による「財務指標に基づく企業分析のための人工知能教育用教材開発その1・その2」および令和4年度には共同研究費による研究に採択され、「財務指標に基づく企業分析のための人工知能教育用教材開発その3」を実施した。各年度希望学生を募り、で毎週2コマ「コイタ君ゼミ」を開催し、延べ130名以上の参加者に対してPythonによる財務分析のためのAIの本格的な開発のための教育をすすめており、その成果の一部として就職活動において企業から高く評価され、本学でこれまで採用のなかった「株式会社GCC」へコイタ君を2年間学んだ3名の学生が内定・採用されている。今後も、生成AIの急速な普及が進むなか、本格的AI開発能力を持つ技術者を養成する教育の重要性はますます高まることから、今年度は本学チャレンジ講座として「ビジネスに役立つAIをつくってみよう～AIデジタルマーケティングシステム開発プロジェクト～」を開催し、43名の学生が受講している。本研究関連資料および成果の一部として、以下の資料を添付する。 ・財務指標に基づく分析のための人工知能教育用教材開発 2021・2022・2023（高崎商科大学紀要），教育システム情報学会全国大会 2022，コイタ君研究紹介資料佐々木(202年度FDシンポジウム発表資料)

【経験のある連携事業（地域連携、企業連携、高大連携等）】

前任校において、群馬県工大連携生徒研修会に2回（平成27年8月・平成28年7月）、群馬県工大連携職員研修会に2回（平成28年1月・平成29年1月）講師として招かれ、高い評価を得た。さらに、高校訪問として、高校1年生・2年生を対象に出前授業を12回、授業宅配を4回、模擬授業を9回実施し、毎回高い評価を得た。

【今後取り組みたい連携事業、または対応可能な連携事業】

地域の高校生、社会人向けに、「AI基礎講座」「Pythonによる本格的AI開発入門」などの講演会、講座、体験セミナーの開催が可能です。詳細は具体的な開催プラン決定時に提示します。

キーワード	AI基礎、AI開発入門、PythonによるAI開発
-------	---------------------------